記事のタイトルをクリックすると、当該記事のホームページに遷移します。※ページがない場合は、遷移しません。

対＝対象 日＝日時・期間 場＝場所 内＝内容 講＝講師 定＝定員 ¥＝費用(記載のないものは無料)

令和7年度決算をお知らせします

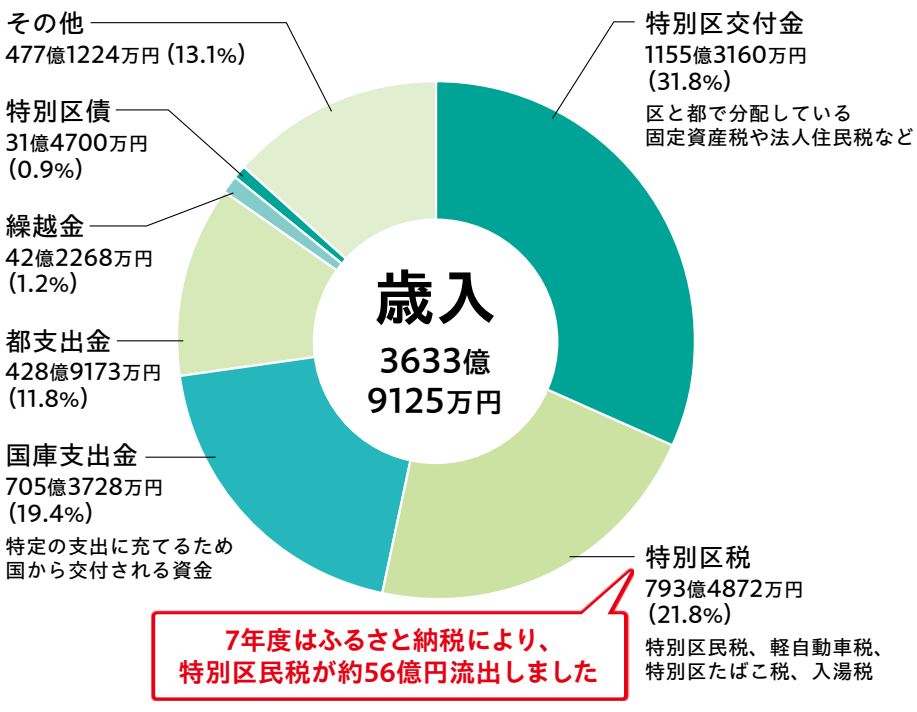
一般会計

7年度の一般会計は、歳入決算額が3633億9125万円、歳出決算額が3554億7625万円でした。

問合せ 財政課☎5984-2465

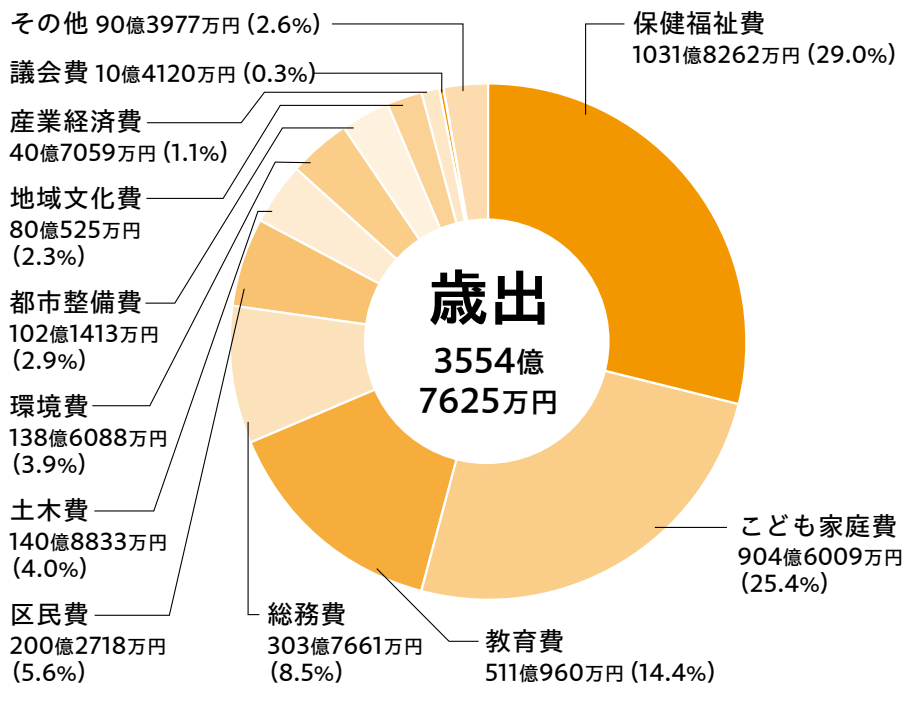
歳入

前年度比7.6%、255億9610万円の増でした。主に国庫支出金が増となり、都支出金などが減となりました。



歳出 (目的別)

前年度比7.9%、259億374万円の増でした。主に教育費が増となり、土木費などが減となりました。



歳出 (性質別)

前年度に比べて、義務的経費は3.1%の増、投資的経費は51.5%の増、その他の経費は5.2%の増となりました。

区分	決算額	構成比(%)
義務的経費	1856億9054万円	52.2
人件費	452億7287万円	12.7
扶助費	1346億4224万円	37.9
公債費	57億7543万円	1.6
投資的経費(普通建設事業費)	411億8219万円	11.6
その他の経費(物件費、補助費など)	1286億 352万円	36.2
計	3554億7625万円	100

特別会計

特定の収入を使って特定の事業を行う場合、収入や支出を一般会計と分けて経理する会計が特別会計です。7年度の特別会計の決算額は下表の通りです。

会計	収入済額	支出済額
国民健康保険事業会計	652億6026万円	646億9685万円
介護保険会計	647億3665万円	639億9207万円
後期高齢者医療会計	206億279万円	205億7493万円

財政健全化判断比率

財政健全化判断比率とは、4つの指標と基準で、地方公共団体の財政の健全性を判定するもので、法律に基づき公表が定められています。区の7年度の状況は、下表の通りです。いずれの比率も法が定めた早期健全化基準を大きく下回り、健全な状態です。

指標	内容	練馬区算定比率	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計における赤字の収入に対する比率	△3.57%	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別会計も含めた全会計における赤字の収入に対する比率	△4.19%	16.25%
実質公債費比率	区が負担する借金返済額の収入に対する比率	△0.9%	25.0%
将来負担比率	区が将来負担すべき負債の収入に対する比率	△57.1%	350.0%

貸借対照表(バランスシート)

年度末で区が保有する資産や負債、純資産の内容を一覧表で示したものです。資産の部は固定資産と流動資産の内訳、負債の部は地方債(特別区債)など将来世代が負担すべき債務、純資産の部は今までの世代が負担してきたものを示しています。

8年3月31日現在

資産の部		負債の部	
固定資産		固定負債	
有形固定資産(学校・道路・公園など)	1兆3770億3958万円	地方債、退職手当引当金など	908億5856万円
無形固定資産(ソフトウエアなど)	30億333万円	流動負債	
投資その他の資産(基金など)	1171億9816万円	1年内償還予定地方債、預り金など	180億1509万円
流動資産		負債合計	1088億7365万円
現金預金	148億2985万円	純資産の部	
財政調整基金など	590億4260万円	純資産合計	1兆4622億3987万円
資産合計	1兆5711億1352万円	負債・純資産合計	1兆5711億1352万円

ねりま区報をご自宅にお届けします

新聞未購読で、区報の入手が困難な世帯に無料でお届けしています。希望する方は、区HPから申し込むか、お問い合わせください。問広報係☎5984-2690